

松原ダム・下釜ダム 管理五十周年記念碑

昭和二十八年六月の筑後川大洪水を契機に計画 建設された松原ダムと下釜ダム。
昭和四十八年三月の完成以降 幾度も発生した洪水や濁水から筑後川流域に暮らす人々の生活を守り続けてきた。

しかし、このダム建設には、水没する四百八十三世帯の移転が必要であった。
反対する住民は砦となる「蜂の巣城」を築き、十三年間にも及ぶ法廷闘争などの激しい建設反対運動は、その後の公共事業の在り方に極めて大きな影響を与えた。

令和五年で管理五十周年を迎える松原ダムと下釜ダム。

先祖伝来の大切な土地を離れることとなった方々をはじめ、事業促進にご尽力いただいた方々、また、適切な管理にご協力いただいた関係者の方々へ、感謝の意を表するとともに、松原ダム・下釜ダムの歴史が後世に引き継がれ、これからも筑後川流域住民の安全で安心な暮らしが続くことを心より願い、ここに銘記する。

令和五年五月二十八日

日田市

小国町

筑後川ダム統合管理事務所

完成当時の下釜ダム



完成当時の松原ダム

